

エコアクション 21

環境経営レポート

対象期間 〈 2023.10.1～2024.9.30 〉



有限会社 徳和建設

2025年1月21日発行

目 次

1	組織の概要	・・・ 2頁
2	認証・登録対象範囲	・・・ 3頁
3	環境経営方針	・・・ 4頁
4	実施体制図	・・・ 5頁
5	中期環境経営目標	・・・ 6頁
6	2023 年度環境経営目標と実績	・・・ 7頁
7	環境経営計画と実施状況	・・・ 8頁
8	取組結果の評価・次年度の取組	・・・ 9頁
9	環境関連法規等の遵守状況及び違反、 訴訟の有無	・・・ 10頁
10	代表者による全体の評価と見直し・指示	・・・ 11頁

1 組織の概要

◆ 事業所名及び代表者氏名

事業所名 有限会社徳和建設
代表者名 代表取締役 中村 徳克

◆ 所在地

本社 〒861-2103
熊本市東区若葉6丁目4番15号
TEL (096) 365-7248
FAX (096) 365-7274
Email: tokuwa.k-7248@jcom.zaq.ne.jp

資材置き場 熊本市東区若葉6丁目13

◆ 環境管理責任者 工事部長 松本 浩一

◆ 事業の内容及び規模

設立 平成8年6月
資本金 500万円
事業年度 10月1日～9月30日
登録 熊本県知事許可（般一28）第013919号
許可業種 一般建設業

土木工事業 とび・土工工事業 石工事業
業 しゅんせつ工事業 舗装工事業 水道施設工事業
解体工事業

産業廃棄物収集運搬業（自社工事分のみ取扱い）

従業員数 9名（パート・アルバイト含む）

有資格技術者 一級土木施工管理技士3名 一級土木施工管理技士補1名
二級土木施工管理技士1名 二級建築施工管理技士1名
二級管工事施工管理技士1名 二級建設機械施工技士 1名

2 認証・登録対象範囲

◆ 対象事業所

本社
資材置場

◆ 対象活動範囲

全社
土木工事業 とび・土工工事業 舗装工事業 水道施設工事業

3 環境経営方針

— 環境理念 —

私たち有限会社徳和建設は、ますます深刻化する地球温暖化や、今後も予想される地下資源の枯渇への対応が人類共通の重要課題との認識にたち、土木工事等事業活動における環境負荷の低減を図るため、全社一丸となって自主的・積極的に環境保全活動に取り組みます。

経営方針

安全と信頼を念頭に経営の向上を目指し、環境保護、地域貢献にも力を入れていけるよう全社員、一人一人の意識を高めていきます。

〈 行動計画 〉

1. 具体的に次のことに取り組みます。
 - ① 電力・自動車燃料及び重機等の消費に伴う二酸化炭素排出量の削減
 - ② 建設資材の省資源、廃棄物の3R（減量・再利用・再生利用）推進
 - ③ 水資源の節水
 - ④ コピー用紙の削減、再利用
 - ⑤ 生産性に配慮した工法（工期短縮・技術の工夫等）の推進
2. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。
3. 環境方針は全従業員一人ひとりに周知し、継続的に取り組みます。
4. 環境経営目標及び計画を定め、継続的な改善に努めます。

制定日 2012年9月10日

改定日（新ガイドライン） 2023年9月30日

代表取締役 中村 徳克

4 実施体制図



◆ 環境経営システムの役割と責任

代表者	- 環境方針の制定・改定、環境目標及び環境活動計画の承認 - 環境経営システム全体の取組状況の評価と全般的見直し(年 1 回以上) - 環境取組に必要な資源・人材の確保
環境管理責任者	- 環境経営システム構築・運用の責任者 - 環境経営システムの代表者への報告 - 環境目標・環境活動計画の確認、進捗確認と修正の指示 - 環境情報の外部への連絡、緊急事態発生時の判断 - 問題の是正と予防措置の判断 - 環境教育訓練の計画と実施

環境管理事務局	・環境管理責任者の代行、環境活動の事業所での推進 ・環境目標・環境活動計画の作成 ・環境活動計画の進捗の把握 ・環境実績データの集計 ・環境文書作成発行・環境記録作成管理
---------	---

5 中期環境経営目標

中期環境経営目標（3カ年）

事業年度：10月～翌年9月 2023年度：2023年10月1日～2024年9月30日

項目	単位	2022年度 実績	2023年度 目標	2023年度 実績	2024年度 目標	2025年度 目標
1.電力 使用量削減	kWh	3,776	3,739	3,900	3,861	前年度－1%
		—	前年度－1%	—	前年度－1%	—
2.軽油 使用量削減	L	8,287	8,205	4,515	4,470	前年度－1%
		—	前年度－1%	—	前年度－1%	—
3.ガソリン 使用量削減	L	3,798	3,761	3,851	3,724	前年度－1%
		—	前年度－1%	—	前年度－1%	—
4.灯油 使用量削減	L	0	0	0	0	0
		—	—	—	—	—
1～4.二酸化 炭素 *1) 排出量削減	kg-CO2	32,235	31,913	22,371	22,147	前年度－1%
		—	前年度－1%	—	前年度－1%	—
5.一般廃棄物 排出量削減	kg	削減に努める	削減に努める	72.3 kg	前年度－1%	前年度－1%
6.建設廃棄 リサイクル率 向上	%	—	100	100	100	100
		削減に努める	維持	維持	削減に努める	削減に努める
7.水 使用量削減	m³	54m³	節水に努める	51 m³	前年度-1%	前年度－1%
8.地域貢献活 動 (本社周辺道路清掃)	回	1	1	1	1	1
		維持	—	維持	—	—
9.建設工事工 期短縮	日	短縮に努める	短縮に努める	短縮に努める	短縮に努める	短縮に努める

*1) 1～4二酸化炭素排出量 $\text{kg-CO}_2 = (1: \text{電気 kWh}) \times \text{九州電力 2023年度排出係数 } 0.406$

+ (2: 軽油 L) $\times$ 排出係数 0.0687 $\times$ 単位発熱量 38.2

+ (3. ガソリン L) $\times$ 排出係数 0.0671 $\times$ 単位発熱量 34.6

+ (4. 灯油 L) $\times$ 排出係数 0.0679 $\times$ 単位発熱量 36.7

赤字は年度目標よりも数値が増えたもの

6 2023年度環境経営目標と実績

取組み期間： 2023年10月1日～2024年9月30日 (1年間)

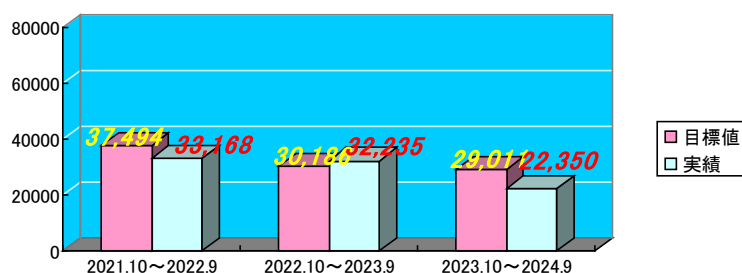
項目	単位	2022年10月 ～2023年9月 (実績・基準)	2023年10月 ～2024年9月 目標	2023年10月～ 2024年9月 実績	目標 達成率 *1 (%)	備考
1.電力 使用量削減	kWh	3,776	3,738	3,900	96%	
		基準	－1%	+3%		
2.軽油 使用量削減	L	8,287	8,204	4,515	182%	
		基準	－1%	－46%		
3.ガソリン 使用量削減	L	3,798	3,836	3,851	99%	
		基準	－1%	－1%		
4.灯油 使用量削減	L	0	0	0	100%	
1～4.二酸化炭素 排出量削減	kg- co2	32,235	32,557	22,350	145%	
		基準	－1%	－31%		
5.一般廃棄物 排出量削減	K g	—	削減に努める	72.3 kg	—	今年度より計量
6.建設産廃リサイクル率向上※	%	98.3%	100%	95.8%	95%	実績 t
7.水使用量削減	m3	54 m ³	節水に努める	51 m ³	105%	
8.地域貢献活動 (清掃ボランティア活動)	回	1	1	1	100%	
		100%	100%	100%		
9.建設工事工期短縮	日	—	短縮に努める	一部短縮実施		

*1 目標達成率： 削減目標の場合 目標÷実績×100 (%)

※向上目標の場合 実績÷目標×100 (%)

*2021年度の目標は、2020年度実績を基準に策定した。2021年度の中期環境経営目標に対する目標達成率は、右欄に記載した。

CO2 削減目標値及び達成状況(単位 kg-CO2)



7 環境経営計画と実施状況

実施状況 ○よくできた △だいたいできた ×できなかった

項目	担当	事務所	実施	担当	工事現場	実施
① 電力使用量の削減	中村ゆ	エアコンの温度設定 夏は26℃、冬20℃の徹底。 外気の取り込みや扇風機の活用 エアコンフィルターの定期的清掃 エアコンの終業15分前オフ 日除けによる夏季室温上昇防止、アルミシートで冬季の室温低下防止 OA機器の退社時等の電源オフ 不要時消灯の徹底 モップを利用し、掃除機使用回数の削減	○ ○ ○ △ ○ ○ ○ ○	—	(該当なし)	
② 軽油使用量の削減 ③ ガソリン使用量の削減	中村ゆ	エコドライブ10のすすめ取組み 1.ふんわりアクセル「eスタート」 2.加減速の少ない運転 3.早めのアクセルオフ など10項目 「10のすすめ」を車に携帯	○ ○ ○ ○	中嶋	エコドライブ10のすすめ取組み 1.ふんわりアクセル「eスタート」 2.加減速の少ない運転 3.早めのアクセルオフ など10項目 「10のすすめ」を車に携帯 重機のアイドリングストップ	○ ○ ○ ○ ○
④ 灯油使用量の削減	中村ゆ	灯油使用の機器は使用せず	○	中嶋	温度計設置による管理	○
◇CO2排出量の削減		上記①②③の活動による		—	上記①②③の活動による	
⑤ 一般廃棄物排出量の削減	中村ゆ	ゴミを計量し削減に向け努力 個人ゴミの持ち帰り推進 コピー用紙削減の活動	○ ○ ○	中嶋	廃棄物の削減努力 個人ゴミの持ち帰り推進	○ ○
⑥ 建設産廃リサイクル率向上		(該当なし)		松本	分別の徹底	○
⑦ 水使用量の削減	中村ゆ	蛇口付近に節水ステッカー掲示 洗車時の止水ホース使用、バケツの活用	○ ○	—	(該当なし)	
⑧ コピー用紙の削減	中村ゆ	コピー機の電源を省電力モードに 裏紙の活用 FAX送信時PCから直接送信 文書の控えはスキャニングして電子データでの保存	○ ○ △ △	—	(該当なし)	
⑨ グリーン購入率の向上	中村ゆ	エコマーク・グリーンマーク商品の優先購入 詰め替え商品の優先購入	○ ○	—	(該当なし)	
⑩ 建設工事工期短縮	中村	工期日程の管理	△	松本	工事内容の見直しをし、短縮に努める	○
⑪ 地域貢献活動	中村ゆ	大雨時の近隣清掃	○	中嶋	ボランティア活動に参加	○

8 取組結果の評価・次年度の取組

環境経営目標項目	達成率	評価	次年度の取組み
① 電力使用量の削減	96%	猛暑日が長く続き、電気使用が増えた。	エアコンフィルター清掃の継続 節電意識の継続 次年度エアコン1台の交換を予定
② 軽油使用量の削減	182%	エコドライブは周知されている 現場が近かった事もあり削減できた	最新の「エコドライブ10のすすめ」を活用する 削減意識の継続
③ ガソリン使用量の削減	99%	エコドライブは周知されている 閑散期は営業の為の車の使用が増えた。	最新の「エコドライブ10のすすめ」を活用する 削減意識の継続
④ 灯油使用量の削減	100%	数年前より事務所で石油ヒーターやストーブ使用を廃止した	灯油の使用は廃止の継続
◇ CO2排出量の削減 上記①②③④活動による	145%	上記①②③④による。 猛暑が続き、熱中症対策の電気使用が増えた（冷房・飲料水の冷蔵など） ただし、目標達成した	予想以上の猛暑日が続き経口補水液の冷蔵補充、保冷材の冷蔵は次年度より多めにしていく。健康への配慮は持続しCO2排出の削減に努める
⑤ 一般廃棄物排出量の削減	—	数量の把握をするために、月ごとに計量し基準を設定した。	次年度からは基準のデータを基に削減に取り組んでいく。
⑥ 建設産廃リサイクル率向上	95%	ほぼリサイクルできているが河川工事の汚泥については固化処分となった	分別徹底の継続
⑦ 水使用量の削減	105%	猛暑のため飲料水使用が増えたが使用量は削減できた。洗車時のバケツ、止水ホースへの変更出来た事も考えられる。	引き続き節水に努める
⑧ コピー用紙の削減	—	具体的な活動はできているがまだまだ。意識改革に取り組む。	引き続き削減努力を継続する
⑨ 地域貢献活動	100%	清掃活動に参加 梅雨時期に会社付近に流れ着くゴミの清掃	梅雨の時期等を実施する地域の清掃の実施 加入団体での参加を継続する
⑩ 建設工事工期短縮 ・工期日程の管理	—	人員不足もあり工程の見直し検討を実施。短縮に努めた（担当者同士の情報共有必須）	各自の意識改革要継続。常時指導する 引き続き工程の見直し、検討を維持する

9 環境関連法規等の遵守状況及び違反、訴訟の有無

1 遵守事項は次の通りです。

環境関連法規への違反はなく、関係当局からの指摘もありませんでした。

当社関連法規	内 容	確認	評価
建設リサイクル法	平成 30 年度再資源化等目標 コンクリート塊 99% 建設発生木材 95% アスファルト塊 99%	松 本 1/10	○
騒音・振動規制法	バックホウなどの重機を使用する際は基準値を守る 近隣住民への説明、挨拶の徹底	松 本 1/10	○
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	排出事業者許可証の更新日の確認 許可証の確認 処分依頼先との契約 マニフェストのファイリング等整理 産業廃棄物における元請責任の遵守事項 自社運搬における遵守事項 産業廃棄物管理表交付等状況報告書の遵守事項	松 本 1/10	○
家電リサイクル法 再資源化等に関する法律 (PCリサイクル法)	家電 4 品目を廃棄する際のリサイクル料金の支払等 使用済みパソコンの引き取り業者への引渡し	松 本 1/10	○
使用済み自動車の再資源化に関する法律 (自動車リサイクル法)	リサイクル料金の負担 (購入時に支払い済) 使用済み自動車の引き取り業者への引渡し	松 本 1/10	○
水質汚濁防止法	排水濃度の測定・記録 事故時の措置届出	松 本 1/10	○
オフロード法	適正燃料の使用 持ち込み機械の適正ステッカーの確認	松 本 1/10	○
大気汚染防止法	解体工事において石綿関連の廃棄物等が発生する場合の事前届出	松 本 1/10	○

2 訴訟や苦情等も一切ありませんでした

10 代表者による全体の評価と見直し・指示

◆ 環境経営方針・企業理念について

状況による変化があるのも相変わらずだが、より日常的に取り組めるよう再教育を実施するなど引き続き意識改革に取り組む。
安全と信頼を念頭に環境問題、地域貢献に引き続き取り組む。

◆ 目標・経営計画について

今回は CO2 の排出量の削減はできたものの、改善すべきものの把握ができた。猛暑の影響で電気使用量が増えた事だ。次回は自然環境に繋がる活動になるよう検討する。

◆ 統括

引き続き全社、全社員エコアクション活動を意識し取り組む。